介護人材実態調査 事業所票

令和7年（2025年）10月1日時点の状況について、 の中にご回答ください。
以下のフォームに入力の上、メールでお送りください。FAXでご回答される場合は、印刷してご利用ください。
送付先 nci-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp FAX 046-827-8845

【エクセルの場合】

※回答が必須で、未入力となっている回答欄は黄色になっています。入力後、黄色の回答欄が残っていないかお確かめください。また、回答が不要の場合、回答欄が灰色になります。次の問いにお進みください。（回答結果によって色が変わります。上の問いから順番にご回答ください）
※入力したのに黄色が残ってしまっている場合、スクロールすると消える場合があります。また、もし黄色が消えなくても、未入力でなければ問題ありません。
※選択肢の1つを選ぶ間で複数選択している場合、回答欄が赤になります。ご確認のうえ、修正してください。
※エクセルのバージョンが古い場合、色がつかない場合があります。その場合は、説明文を見て回答が必要な箇所についてご回答くださるようお願いいたします。

問1 貴事業所の概要についてお伺いします。

(1) 貴事業所の基本情報（直接入力）

事業所番号

事業所の名称

ご担当者氏名

電話番号

Eメールアドレス

(2) 該当するサービス種別は何ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

☐	訪問看護
☐	訪問リハビリテーション
☐	居宅介護支援

問3 本市は、約10年後（2035年）に要介護・要支援認定者が3万人を超えると見込まれています（9期計画現在）。それに伴い、介護需要の増加と人材不足が見込まれます。

今後、人材不足の状況を克服するために、事業所として優先度の高い方策はどれですか。
あてはまるものを3つまでお選びください。

☐	1. 職員の離職防止・定着促進
☐	2. 若手職員の新規採用
☐	3. 高齢者（アクティブシニア層）の活用
☐	4. 介助助手や未経験者の活用
☐	5. 外国人労働者の活用
☐	6. 介護業界のイメージアップ
☐	7. 若い世代への介護の仕事のPR
☐	8. 介護ロボットやICTの導入による職員の負担軽減
☐	9. 業務の効率化や生産性向上

問4 貴事業所が受けられる利用者の数【供給（※1）】に対して、貴事業所の利用を希望する人の数【需要（※2）】は、次のどれにあてはまりますか。

（※1）供給は定員、ベッド数、人員体制等とお考えください。

（※2）需要は、現在の利用者も含めてお考えください

あてはまるもの1つに○をつけてください。（おおよその感覚でお答えいただいても構いません）

☐	1. 需要が供給を大きく上回る（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者の方が多い）
☐	2. 需要が供給をやや上回る（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者の方がある）
☐	3. 需要が均衡
☐	4. 需要が供給をやや下回る（利用者が事業所の受け入れ可能人数より若干少ない）
☐	5. 需要が供給を大きく下回る（利用者が事業所の受け入れ可能人数より少ない）